

(3)-2 関西国際空港の存在・運用に係る環境監視計画の変遷

監視項目	測定・調査項目	調査範囲	調査点	2期供用開始後(H19.8)～		現行(R4.2末時点)
				調査頻度	実施期間	
騒音	航空機騒音	大阪湾沿岸地域及び飛行経路周辺地域	11地点(常時) 10地点(定点)	常時観測	将来にわたり実施	将来にわたり実施
	飛行経路・高度		年1回程度 (当面年1～4回)	運用開始3年後まで	年1回程度 (H28.9変更)	平成29年度から当面の間
低周波音	航空機の低周波音	大阪湾沿岸地域	数地点	常時測定	運用最大時の3年後まで	運用最大時の3年後まで
大気質象	窒素酸化物(二酸化窒素・一酸化窒素)、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、炭化水素(メタン・非メタン)、風向・風速 二酸化硫黄 窒素酸化物(二酸化窒素・一酸化窒素)、浮遊粒子状物質、風向・風速	空港島対岸部	1地点 2地点	常時測定	運用最大時の3年後まで	
		空港島周辺海域	4点	年4回(四季)	H22.5調査で終了 (H22.3変更)	当面の間実施(R3.7変更) 北側連絡誘導路等の施設整備の実施が確定後、着工前に速やかに内部水面(N1, N2)において年4回(四季)で再開
水質	透明度 水温、塩分、pH、DO、COD、T-N、T-P、クロロフィルa、SS	内部水面海域	3点	年2回 (夏季、冬季)	H22.5調査で終了 (H22.3変更)	当面の間実施(R3.7変更) 北側連絡誘導路等の施設整備の実施が確定後、着工前に速やかに内部水面(N1, N2)において年4回(四季)で再開
		空港島周辺海域	4点	年4回(四季)	H22.5調査で終了 (H22.3変更)	当面の間実施(R3.7変更) 北側連絡誘導路等の施設整備の実施が確定後、着工前に速やかに内部水面(N1, N2)において年4回(四季)で再開
底質	泥温、強熱減量、粒度組成、pH、COD、硫化物、T-N、T-P	内部水面海域	2点	年4回(四季)	H22.5調査で終了 (H22.3変更)	当面の間実施(R3.7変更) 北側連絡誘導路等の施設整備の実施が確定後、着工前に速やかに内部水面(N1, N2)において年4回(四季)で再開
		空港島周辺海域	4点	年3回 (春季、夏季、秋季)	H22.5調査で終了 (H22.3変更)	当面の間実施(R3.7変更) 北側連絡誘導路等の施設整備の実施が確定後、着工前に速やかに内部水面(N1, N2)において年4回(四季)で再開
海域生物	植物プランクトン 動物プランクトン	内部水面海域	3点	年4回(四季)	H22.5調査で終了 (H22.3変更)	当面の間実施(R3.7変更) 北側連絡誘導路等の施設整備の実施が確定後、着工前に速やかに内部水面(N1, N2)において年4回(四季)で再開
		空港島周辺海域	4点	年4回(四季)	H22.5調査で終了 (H22.3変更)	当面の間実施(R3.7変更) 北側連絡誘導路等の施設整備の実施が確定後、着工前に速やかに内部水面(N1, N2)において年4回(四季)で再開
陸生動物(鳥類)	鳥類の飛来・生息 タカ類の渡り	1期及び2期空港島内	定点及び調査ライン	3年ごとに月1回	3年ごとに月1回	航空機年間離着陸回数が増加(20万回程度など)した段階で再開 (令和元年度より休止)
		空港島周辺海域	調査ライン	3年ごとに年4回	3年ごとに年4回	
		タカ類の渡りのルート	1点	3年ごとに年1回	3年ごとに年1回	